

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室[メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期	講義形式
会計・財務要論 1		Z 208	1 単位	1 学期	ハイフレックス
Essentials of Business Accounting / Finance 1					
科目分野		課程領域			
ファイナンス・アカウンティング		ビジネスマネジメント専門科目			
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー			
村上 敏也	-	-			

関連している科目(履修推奨科目)

会計・財務要論2	企業財務特論A	企業財務特論B
----------	---------	---------

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

今日の成熟社会で活躍する人財には、様々なデータにもとづきチームワークで科学的に意思決定を改善していくための技能が必要です。こうしたデータの一つとして、組織の活動を測定し伝達する会計情報の性質を理解し、その有効な活用方法を習得しておくことは大切です。そこで本科目では、表計算ソフトや実際の企業の有価証券報告書、あるいは会計データの分析サイトを活用しながら、財務会計上の多様な情報を使った体験的な分析に取り組むことで、会計データを経営上の意思決定やチームワークにいかすために必要な態度と技能について体験的な理解を深めていきます。

到達(修得)目標

会計情報にもとづく戦略的な思考力および実践的な意思決定力を身につけるための基本となる知識や手法について体験的に直観をみがき、会計データにもとづく意思決定に慣れることを目指します。また、今後の経営において必要となるデータ分析リテラシーおよび相互に学び合う態度(学びの共同体)の涵養を目指します。

受講対象者

会計情報をチームワークでの意思決定に活用したいと考える全受講生

履修上の注意事項やアドバイス

講義とケースメソッドまたは演習により授業がすすみます。演習は、表計算ソフト(MS-Excel)の使用を予定しています。また、授業内で随時インターネット上の情報サイトを利用することがあります。毎回の授業でグループあるいはクラス討論をおこないます。積極的な姿勢で授業に臨んでください。この科目では単に教わることは期待せず、教員を含む他の参加者から情報を引き出し、また自分の考えや情報を他の参加者に提供し、相互の学びに貢献するチームワークを基本にしています。講義による受け身の授業ではありません。なお、実際の演習課題の内容は履修者の関心や経歴に応じて変更することがあります。会計の用語等に抵抗・不安がある場合は、事前に参考図書を超入門書などを気楽に眺めておかれるとよいでしょう。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力		X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力		X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	比例縮尺財務諸表の演習	演習	当日配布
3	レンタルサーバはじめました	ケースメソッド、演習	当日配布
4			
5			
6			
7			

評価の方法		
(総合評価項目と割合)	評価の要点	
クラス貢献(討議・ディスカッション)	70%	クラス貢献は、グループワーク、グループ討議、クラス討議における、発言内容の正誤ではなく、「参加者相互の学び」に貢献する発言・態度を評価します。各日の授業終了後に、個人ワーク、グループワーク、気付き・学び、自身のクラス貢献などをメモした、授業レポートを提出して頂きます。授業レポートは、A4一枚程度を想定しています。
授業レポート	30%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	『なぜ、会計嫌いのあいつが会社の数字に強くなった?』村上裕太郎(東洋経済新報社)	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『100分でわかる! 決算書「分析」超入門』佐伯良隆(朝日新聞出版)※何年度版でも可 『ビジネス・アカウンティング(第3版)』山根節ら(中央経済社)	
参考URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	オリエンテーション 会計データの集計	表計算ソフトをご持参ください	村上	180分
	比例縮尺財務諸表(1) 会計データを用いた意思決定	「レンタルサーバ」事業についてEDINETで全文検索し、有価証券報告書を眺めてみてください		
	イベント	ケース教材:レンタルサーバはじめました(当日配布)		
3.4	比例縮尺財務諸表(2) 比例縮尺図のパターン	テキストを読んできてください	村上	180分
	比例縮尺図からの課題発見 企業価値の計測と創出			
	イベント	ワークシート:比例縮尺財務諸表の演習(当日配布)		
5.6	比例縮尺財務諸表(3) 複数期間の比較、複数企業の比較	ワークシートの指定課題について分析してください	村上	180分
	比例縮尺図からからの意思決定	ワークシートの指定課題について分析してください		
	イベント	グループ討議、クラス討議		
7.8	自社課題の分析	自社または類似企業の比例縮尺財務諸表を作成し、課題分析してください	村上	180分
	クラス発表と討議	※分析結果はグループで共有し、クラス発表に使用することがあります		
	イベント	グループワークによる分析結果の共有、課題発見、解決策の提案、クラス発表・討議		

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。